

<ちょこっとコラム③⑤>

(礼拝用語 その④)

「主の祈り」 *Lord's Prayer*

イエスが弟子たちに祈り方を教えてほしいと求められ、伝えたのがこの祈りです。マタイ 6:9-13 とルカ 11:2-4 に記されていますが、ルカの方が短く、コンパクトになっており、学者たちはこちらの方が元の文言に近いものであっただろうと推測しています。まず、神に呼びかけ、神のみ旨がなされるよう祈り、その後で自分たちのことについて神の助けを求める流れは、当時のユダヤ教の祈りによく似ているようです。

最後の頌栄（国と力と…）は後代付け足されたものであるとされています。「国と力と栄光はすべてローマ皇帝のもの」とされていた時代、密かにクリスチャンたちが、そうではなく、すべては神のものであるということ合言葉として大切にしていたようです。